福岡市交通事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和6年度下半期 (令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)における本市高速鉄道事業の業務状況を 次のように公表する。

令和7年8月28日

福岡市長 宗一郎 髙 島

福岡市高速鉄道事業の令和6年度下半期の業務状況 (第102回公表) 次 損益計算書 貸借対照表……

1 概況

1 概

3

4

5

令和6年度下半期における輸送人員は、定期の利用者が43,850,100人(1日平均 240,935人)、定期外の利用者が52,817,766人(1日平均290,208人)の計96,667,866人 (1日平均531,143人)で、前年度同期と比べ、7,532,737人(8.45%)の増加となって おります。

増客増収の取組みとして、地下鉄を利用した周遊イベントや沿線施設と連携したイベ ントの実施など、沿線の魅力や地下鉄の利便性のPRを積極的に推進するとともに、広 告の販売促進やお客様ニーズに対応した新規店舗の誘致及び既存店舗区画の事業者公募 など駅空間の有効活用、収益向上に取り組んでまいりました。

また、営業線改良事業では施設や車両等の健全性・安全性を確保するため、3000系車 両の列車制御装置の更新、1000N系車両の更新及び土木構造物の改良工事等を実施する とともに、快適で質の高いサービスを提供するため、車両優先スペースの改修や案内サ インの改良等に取り組みました。

この結果、当期の経営状況は、約52億円の純利益を計上しました。

企業債及び一時借入金の現在高 ……………

今後とも「福岡市地下鉄長期ビジョン」に定めた経営理念の下、安全・安心を最優先 に、計画的かつ効率的な投資や増収対策に取り組んでまいります。

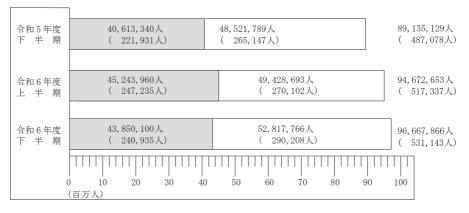
2 事業報告書

(1) 営業区間及び営業キロ

空港線(1号線) 浜 ~ 福岡空港 13.1キロメートル 姪 箱崎線(2号線) 中洲川端 ~ 貝 塚 4.7キロメートル 七隈線(3号線) 博 多 橋 本 ~ 13.6キロメートル 合 計 31.4キロメートル

- (2) 在籍車両数 234両
- (3) 輸送人員





3 損益計算書(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:千円)

区 分	金 額
総 収 益 (A)	21, 230, 364
営業収益	18, 219, 245
営業外収益	3, 000, 426
特別利益	10, 693
総 費 用(B)	16, 008, 112
営業費用	15, 062, 138
営業外費用	943, 948
特別損失	2, 026
差引損益(A)-(B)	5, 222, 252

4 貸借対照表(令和7年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産	の部	負債・資	予本の部
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	348, 418, 860	固定負債	178, 962, 439
流動資産	27, 135, 332	流動負債	39, 636, 243
		繰延収益	95, 562, 764
		資 本 金	141, 690, 569
		剰 余 金	△ 80, 297, 823
計	375, 554, 192	計	375, 554, 192

5 企業債及び一時借入金の現在高(令和7年3月31日現在)

(1) 企業債の現在高

(単位:百万円)

令和6年度	令和6年度下半期					令和6年度末			
上半期末現在高	発	行	額	償	還	額	現	在	高
200, 927		19	, 403		22	, 422		197,	908

(2) 一時借入金の現在高

なし